

昨年4月から、公共施設の指定管理者制度に基づき、各地区の公民館の運営をその地域のまちづくり協議会などへ委託しました。

「社会教育通信」では、各地区における新しい事業への取り組みを紹介しています。第5回は「白川公民館」です。

活動の目標

～地区民とのふれあい深める・高めるまちづくり～白川

参加しやすい行事を通して、多くの地区民が相互にふれあいを持つ住み良い地域づくりを目指します。

学校と地域とのつながり

白川地区敬老会

白川中学校では毎年、地区敬老会に合わせて全校生徒が孟宗竹を加工し、真心込めた孫の手を作っては米寿・喜寿を迎えられた方に贈っています。いただいたおじいさんやおばあさんたちは、かわいい孫たちからの贈り物とあって大変喜んでいました。また、孫の手以外にも感謝の言葉が同封されており、後で読んでは二重の喜びをかみしめています。



▲すてきなプレゼントに大満足！

アトラクションの部でも中学生の皆さんの合唱や、保育園児・小学生の皆さんの踊りで会場は大いに盛り上がります。

☎白川公民館 ☎27-2101・☎27-2931

地区民文化祭

毎年11月の第2日曜日に白川小学校体育館で地区民文化祭を開催しています。当日は、手芸、絵画、健康食などの展示や民謡、踊りなどの舞台発表、お楽しみ抽選会を行います。健康食展示では、地区の食生活改善推進員の皆さんが栄養価を考えながら作ったおいしいような料理がたくさん並びます。舞台発表では、中学生が日ごろ練習している合唱やよさこいソーラン踊りを披露します。

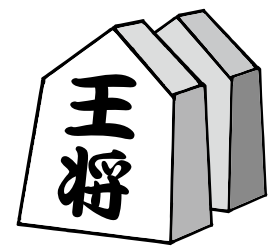


▲日ごろの練習の成果を存分に発揮！

特色あるまちづくり事業

将棋教室

長年中断していた将棋教室が昨年復活しました。将棋は手軽にでき、奥が深いので、老化しつつある脳を活性化させるのに最適です。現在月に1回、第3土曜日の午後1時30分から白川公民館で開催していますので、将棋に興味のある方は、ぜひ参加してください。来年1月に練習の成果を試す大会を予定しています。



そば打ち体験教室

昨年より白川内親地区では、休耕田を利用してソバの作付けを行っています。その地元のソバ粉を使用して、そば打ち職人の方を講師に招いたそば打ち体験教室を開催しました。受講者の方は、初めての方が多かったようで、最初は戸惑っていましたが、時間が経つにつれて手つきも良くなり、それぞれ満足した手打ちそばが出来上がったようです。自分たちでつくったそばは味も格別で、みんなで食べると一段とおいしく、会話ははずみました。



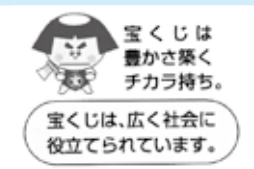
▲真剣な表情でそば打ちに挑戦！

編集後記

当公民館では、今後も学校や地域の皆さんと協力して白川地区の産品や歴史、文化財、地域課題などを取り入れた、だれでも気軽に参加できるまちづくりに取り組んでいきますので、皆さんのご協力をお願いします。

自治宝くじコミュニティ助成事業特大号

やる気応援情報掲示板



宝くじは、広く社会に役立てられています。

自治宝くじコミュニティ助成事業 ～コミュニティの健全な発展が図られています～

財団法人自治総合センターによる宝くじの受託事業収入を財源とした、平成18年度自治宝くじコミュニティ助成事業の助成金を受けて、地域づくりのためにさまざまな整備を行いました。今回は城北コミュニティ推進協議会と西益岡自治会、柳町自治会をご紹介します。

なお、平成19年度コミュニティ助成事業の募集は、10月末日をもって終了しました。

城北コミュニティ推進協議会 ～地域コミュニティ活動を促進～

巨理町、短ヶ町、新町、西益岡、中益岡、東益岡の自治会で形成する推進協議会により、奥州街道ふれあいの館（城北コミュニティセンター）の指定管理者業務を行っています。

年間7千人を超える利用者に幅広く活用されています。講座室のテレビやビデオは研修に利用されていましたが、テレビは映りが悪く、ビデオは古くなって故障が多くなりました。

このたび、助成事業で液晶ハイビジョンテレビ、DVDビデオレコーダー、ワイヤレスアンプ、講座室用ファンヒーター、集会室用ブルーヒーターを購入しました。今まで皆様にご不便をお掛けしましたが、今後も当施設を気軽にご利用いただき、これらの備品を活用してください。「奥州街道ふれあいの館」が、地域コミュニティ活動の拠点となるようこれからも頑張っていきます。



▲液晶ハイビジョンテレビは今後、研修や講習会などで活用されます。

西益岡自治会 ～地区民の思いがこもった山車～



▲地区の子どもたちがたたく太鼓の音を響かせて新しい山車のお披露目です。

このたびの助成事業で、地区民の悲願であった新しい太鼓山車が完成しました。

当自治会では、地域コミュニティづくりの一環として、白石市民春まつりへの参加や、益岡公園に鎮座する八幡神社の祭典に合わせて太鼓山車を運行するなど、各種イベントを企画しさまざまな活動を展開してきました。しかし、従来の太鼓山車は、廃車の2トントラックを利用したもので、老朽化が激しく安全運行にも不安がありました。

今回完成した太鼓山車は、地区を担う子どもたちのために地区民の思いがこもった子供山車です。子どもたちがたたく太鼓は西益岡の響きです。この響きが地区内に大きくこだますることを願い、今後も地域コミュニティづくりに一層努めていきたいと考えています。

柳町自治会 ～皆さん、ありがとうございました～

宝くじの申請以来3年間「お願い!」と念じていましたが、皆さんのご尽力で、念願の「自治会御輿と法被」を購入することができました。

このたびの助成事業により、それは、それは立派な「御輿」が柳町自治会に届きました。

自治会では、毎年5月3日に開催される白石市民春まつりに大人・子ども合わせて100名ほどが参加。会員手作りの御輿を使用していたが、修繕の時期に来ていました。また、法被も十数年使用しており、買い換えの時期になっていましたが、自治会の予算では購入が困難な状況でした。

この助成を心から感謝し、地域コミュニティのために大切に使用します。本当にありがとうございました。



▲自分たちの自治会御輿を囲んで。思わず笑顔になります。